

新型コロナウイルス感染予防に関するJR秋田支社の取組みについて

JR秋田支社では、お客さまに安心して鉄道をご利用いただくために、新型コロナウイルスの感染予防に取り組んでいます。

○ マスクやゴーグル等の着用、消毒の実施等

社員はマスクを必ず着用し、みどりの窓口や改札口などには飛沫防止を目的にビニールカーテンやアクリル板を設置しています。

お客さまの体調不良等により救助を求められる場面も想定されることから、万一の場合に備え社員が使用できるようゴーグルや防護服(レインコートで代用)を準備しています。

また、駅や車両においてお客さまが触れる場所(手すり、つり革など)については、消毒用アルコール等で定期的に消毒しています。

飛沫防止ビニールシート (大曲駅)



飛沫防止アクリル板 (横手駅)



ゴーグルの着用



消毒液の設置 (秋田駅乗換改札)



駅の消毒作業 (上浜駅)



車両の消毒作業



○ 感染拡大防止の呼びかけ、換気の実施等

駅や列車内で「感染拡大防止の注意喚起」の放送を行い、駅の待合室では換気を実施しています。また、秋田新幹線では車両の換気装置により常時換気をしています。在来線の列車（ワンマン列車など一部の列車を除く）では、途中駅停車時にドアを一斉に開けることなどにより、継続的に換気をしています。

駅待合室の換気（秋田駅）



駅待合室の換気（東能代駅）



途中駅停車時の一斉ドア開扉（在来線）



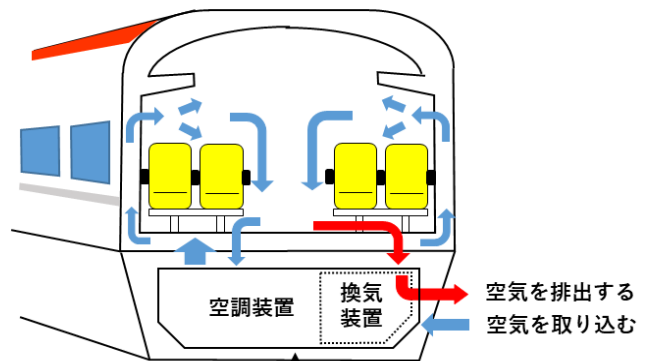
出区点検時の換気（秋田車両センター）



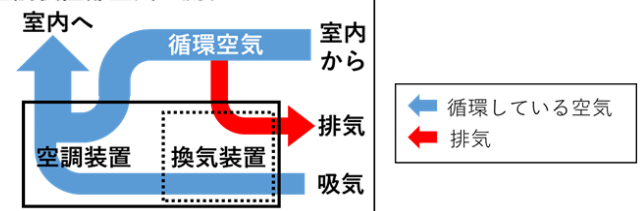
新幹線車両の車内における空気循環（イメージ）

新幹線車両の空気循環（例：E6系）

空調装置で循環させている空気の一部を換気装置で入れ替えることで、外気を取り込んでいます。



空調装置部空気の流れ



この他に、社内の執務スペースにおいてもマスク着用や定期的な消毒を実施しています。また、列車の運行に支障のない範囲で、テレワークや時差出勤等に取り組んでいます。

JR秋田支社では今後もお客さまに安心してご利用いただくために、状況に応じた感染予防に取り組んでまいります。

【参考】グループ会社での取組み（駅構内店舗・駅ビル・ホテル等）

当社グループの駅構内店舗、駅ビル、ホテル等においても、ビニールシートの設置、手袋の着用、ソーシャルディスタンスの確保など感染予防に取り組んでいます。

飛沫防止ビニールシート
(NewDays)



消毒液設置
(トピコ2階「いろいろ」)



宴会スタッフの手袋着用
(ホテルメトロポリタン秋田)



ソーシャルディスタンスの確保
(左：NewDays 右：トピコ2階「いろいろ」)

